

主治医意見書

児童名	年	月	日生
診断名			

【主治医の方へ】

今回ご記入いただく主治医意見書は、申請児童が保育所等での集団保育もしくは居宅訪問型保育が可能かどうかを判断する資料とさせていただきます。下記【集団保育の状況】を参考にさせていただきながら、児童の現在の状況や配慮が必要なことについて、できる限り詳細にご記入願います。

なお、ご記載の内容について市として詳細の確認が必要な場合、保護者同意のもと市や保育所等から問合せをすることがありますのでご協力をお願いします。

【集団保育の状況】

- ・ 保育施設は、乳幼児が多人数（平均100人程度）いる中で長時間にわたり集団で生活します。
- ・ 同年齢のクラスでの保育となります。1人だけ異年齢のクラスに入ることはできません。
- ・ 通年で様々な感染症が発生します。同じ保育室で同年齢の他児と一緒に運動や食事、午睡、遊び、園外への散歩などを行うため、感染症や怪我（他児との接触等）を防ぐことは非常に困難な環境です。
- ・ 必要に応じて加配の職員（原則2名の児童に1名の保育従事者）を配置します。
- ・ 看護師は園全体の保健業務があるため、本児の状態を常に確認することは難しい状況です。
- ・ 集団保育が可能という診断であっても、配慮の内容によっては、保育施設での集団保育が難しい場合があります。
- ・ 感染症により持病が悪化する可能性がある等、集団保育が難しい障害や慢性疾患のある児童などについて、児童の居宅における個別的保育（居宅訪問型保育）を実施しています。

①集団保育、居宅訪問型保育の可否について1つ選びチェックしてください。

- 保育施設での集団保育は可能
- 保育施設での集団保育は不可だが居宅訪問型保育は可能
- 保育施設での集団保育、居宅訪問型保育ともに不可

理由（保育施設での集団保育または居宅訪問型保育が可能な状況など）

--

②現在までの経過

--

～ 裏面もご記入ください ～

③既往症

④検査結果

⑤今後の治療(経過観察)方針

⑥保育所等で配慮すべき事項 (例:食事・運動・排泄・睡眠・保育時間の限度 等)

上記のことを証明します。

年 月 日

医療機関名

所在地

電話

医師

印